

II-1. 外壁耐火構造の開口部廻り耐火被覆工事

(1) サッシ廻りの耐火被覆工事

- 開口部により耐火構造の小口となる部分を開口部廻り被覆材等（強化せっこうボード 25mm+木材 38mm を使用）で覆う。

ポイント：被覆材を構造耐力上重要であるまぐさやまぐさ受け、窓台、構造用合板等の小口を隠すように取付ける。

- ① 被覆材どうしが交わる場所では、勝ち負け納まりにするなど、被覆材による被覆が途切れないようにする。
- ② 屋外側は、外装下地材（木質系ボード等）の小口を被覆材が覆うように勝ち負けをつけて納める。
- ③ 室内側は、強化せっこうボード等の室内側耐火被覆材と、小口被覆の被覆材が連続するようにする。

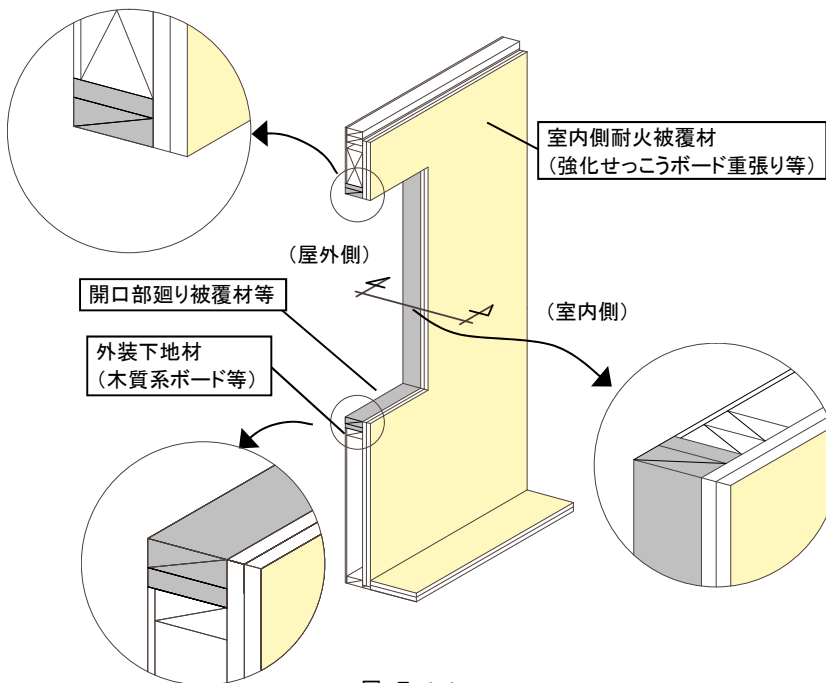


図 II-1-1

- ④ 室内側に内装下地材（木質系ボード等）を張る場合、外装下地材と同様、内装下地材は不燃材料に対し負けとする。

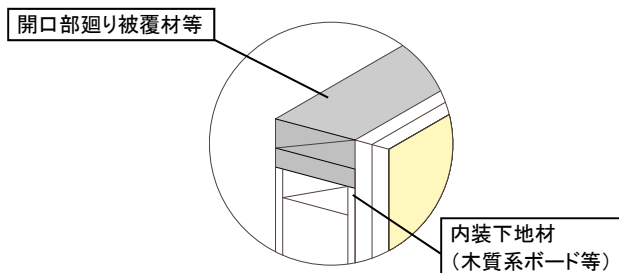


図 II-1-2

【構成材料の詳細】

■ 被覆材について

本書においては、開口部小口を開口部廻り被覆材等により被覆する場合、当協会が実験により確かめた仕様（強化せっこうボード 25mm+木材 38mm）による場合を例示している。

【補足】

左の図は施工の一例であるが、サッシなど外部建具の形状や防水上の納まり等により開口部小口の被覆方法を変える場合がある。

この場合においても、左記のポイントを押さえた納まりを考える。